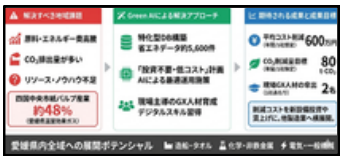
紙産業共創会 | 出展企業・デジタル実装事例

紙産業における最適な省エネ施策のAI自動提案による脱炭素プロジェクト

実装先
金生商事株式会社
（四国中央市）　ほか４社

採択企業
株式会社Green AI
（東京都）



実装先の現場課題
自社に合う省エネ施策が分からず、エネルギーコストとCO_2排出量の削減が進んでいない。

採択企業のソリューション
設備別のエネルギーデータと紙産業特化DBをAIで分析し、省エネ・脱炭素施策の選定、優先順位付け、実行、人材育成を支援する。

目指す姿
設備データを基に効果の高い省エネ施策を選び、1社当たり年間600万円、80t-CO_2の削減を目指す。
現場で効果を確認しながら、継続的に省エネ改善を進められる人材と体制をつくる。

株式会社Green AI | 担当：渡邊
kei.watanabe@grn-ai.com

製紙業特化型 AI モデルによる品質管理業務の自動化プロジェクト

実装先
シンワ株式会社（四国中央市）
リンテック株式会社
（四国中央市）

採択企業
株式会社SCIEN
（東京都）



実装先の現場課題
欠点検査では、欠点の種類や発生状況に応じた判断が求められ、熟練者の経験に依存する部分があり、判定基準の共有・継承にも課題がある。

採択企業のソリューション
画像AIで欠点の特徴を捉え、現場の判断基準を反映して判定する。判定結果や理由を蓄積し、検査判断の標準化・自動化を目指す。

目指す姿
リンテックではAI判定により人のOK・NG判定を不要とし、3ラインで年間約960時間の工数削減を目指す。
シンワではVLMで判定理由を蓄積・共有し、検査基準と判断の説明可能性を高め、製造側への確認・伝達工数100%削減を目指す。

株式会社SCIEN | 担当：田端
sora.tabata@scieninc.jp

製品開発におけるAI･データ活用で、企画･設計業務の自動化と技術･情報の共有知化を目指すプロジェクト

実装先
山陽物産株式会社
（伊予市）
服部製紙株式会社
（四国中央市）　ほか１社

採択企業
株式会社IKETEL
（大阪府）



実装先の現場課題
仕様・条件選定、書類作成、レビューに時間がかかり、設計品質とノウハウが担当者に依存している。

採択企業のソリューション
社内データとAI基盤「ラクション」を用い、情報検索に加えて企画・設計の条件選定、書類作成、レビューを自動化する。

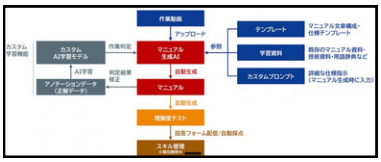
目指す姿
企画・設計業務を1社当たり年間500時間削減する。
過去の設計情報やノウハウをAIで活用し、経験の浅い担当者でも一定品質で設計・レビューできる環境を整える。

株式会社IKETEL | 担当：松本
eisuke.matsumoto@iketel.co.jp

製造業等における熟練者の暗黙知可視化による技能伝承促進プロジェクト

実装先
株式会社JEC（松山市）
三浦工業株式会社（松山市）
株式会社植西運送（伊予市）

採択企業
株式会社キャリアサバイバル（愛知県）



実装先の現場課題
熟練者の作業手順が見える化されず、外国人・若手への指導とマニュアル作成に時間がかかる。

採択企業のソリューション
作業動画をAIが分解し、熟練者との差を可視化・言語化。多言語マニュアルと理解度テストを自動生成する。

目指す姿
マニュアル作成工数を90%、指導工数を33%削減し、新人教育を5カ月から3カ月へ短縮する。
言語や経験にかかわらず、正しい手順を自ら学べる教育環境を整える。

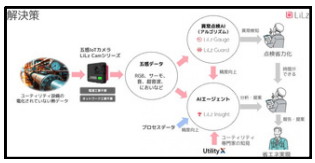
株式会社キャリアサバイバル | 担当：松岡
d.matsuoka@career-survival.com

紙産業共創会 | 出展企業・デジタル実装事例

IoTカメラ・AIを活用した工場・プラントの省力化・省エネ化プロジェクト

実装先
三浦工業株式会社（松山市）
株式会社アール・シー・フードパック（西予市）

採択企業
LiLz株式会社（沖縄県）



実装先の現場課題
人手不足と設備老朽化が進む中、遠隔・危険区域の巡回点検や省エネ検討の負担が増大している。

採択企業のソリューション
工事不要のIoTカメラと設備特化AIで点検データを取得・分析し、異常検知から省エネ施策の提案まで行う。

目指す姿
点検工数を30%削減し、遠隔でも設備の異常を把握できる環境を整える。取得した稼働データから省エネ施策を実行し、1社当たり年間300万円以上のコスト削減を目指す。

LiLz株式会社 | 担当：宮﨑
y.miyazaki@lilz.jp

生産設備特化型AIエージェントによる業務効率化プロジェクト

実装先
県内製紙企業３社

採択企業
株式会社ギブリー
（東京都）



実装先の現場課題
設備トラブル情報や在庫情報が文書・拠点ごとに分散し、検索や社内問い合わせに時間がかかる。

採択企業のソリューション
文書検索AIと在庫横断検索AIで技術文書・在庫を構造化し、業務文脈に沿った検索と数量分析を可能にする。

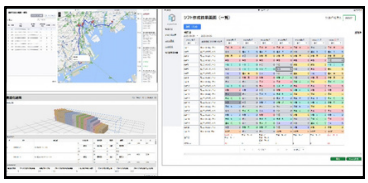
目指す姿
必要な技術情報を探す時間を1日30分から5分へ短縮し、定型的な社内問い合わせを削減する。
また、過去のトラブル対応や在庫情報を誰でもすぐ業務に活用できる状態を目指す。

株式会社ギブリー | 担当：村上
tomoaki.murakami@givery.co.jp

量子技術を活用した、物流・倉庫の最適化プロジェクト

実装先
株式会社アトラス（新居浜市）
株式会社イトマン（四国中央市）

採択企業
株式会社エー・スター・クォンタム（東京都）



実装先の現場課題
配車・積付、営業巡回、人員配置の計画が担当者の経験や勘に依存し、調整に時間がかかる。

採択企業のソリューション
量子技術で配車・積付、訪問先・ルート、人員シフトを最適化し、実績ログを基に計画精度を継続改善する。

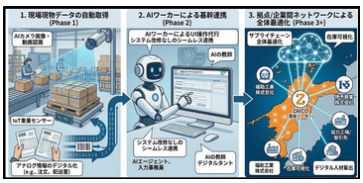
目指す姿
配車・積付計画の作成時間と空車走行を10%削減する。営業先や人員配置もデータに基づいて決められるようにし、担当者が変わっても効率的な計画を立てられる状態を目指す。

株式会社エー・スター・クォンタム | 担当：大浦
oura@a-star-quantum.jp

在庫関連業務のAIによる業務軽減・自動化プロジェクト

実装先
伊予興業株式会社（新居浜市）
福助工業株式会社（四国中央市）

採択企業
株式会社ZAICO
（山形県）



実装先の現場課題
在庫確認・検品・棚卸・システム入力が手作業で、欠品や過剰在庫、入力ミスが発生している。

採択企業のソリューション
AIカメラ・IoT・帳票認識で現物データを認識・在庫数をカウントし、AIワーカーが既存基幹システムへの入力・同期を代行する。

目指す姿
在庫管理業務の工数を60%削減する。現場担当者がAIを改善できる体制を整え、拠点間で在庫情報を共有し、必要な在庫を正確かつリアルタイムに把握できる状態を目指す。

株式会社ZAICO | 担当：田村
tamura@zaico.co.jp

紙産業共創会 | 出展企業・デジタル実装事例

商談獲得に特化した自律実行型AIエージェントによる業務効率化プロジェクト

実装先

株式会社トキワ工業
（四国中央市）

ヒカリ紙工株式会社
（四国中央市）

採択企業

lullaby株式会社
（東京都）



実装先の現場課題

新規営業を担う人材とノウハウが不足し、既存顧客や紹介以外の商談を獲得できていない。

採択企業のソリューション

AIが営業リスト作成、複数チャネルでの接触、担当者連携、結果学習を自律実行し、商談獲得を支援する。

目指す姿

見込み客の抽出からアプローチまでをAIが担い、各社で月5件以上の新規商談を安定的に獲得する。営業担当者が有望顧客への提案と商談に集中できる体制をつくる。

lullaby株式会社 | 担当：坂口
taisei.sakaguchi@lullaby.co.jp

現場を安価かつ簡易にデジタル化「味方DX」

実装先

株式会社地域法人 無茶々園
（西予市）

株式会社ゆうぼく
（西予市）

採択企業

株式会社Furahi
（東京都）



実装先の現場課題

会社が社員のどの業務にいくら払っているか、特定社員に業務が属人化している、AI・ITサービスが多すぎて何が自社に合うか分からない。

採択企業のソリューション

提案書で終わらせない。定期的に現場へ入り、社員と共に手を動かして、生成AIを含む適切なツールで効率化・自動化を実装。内製化・定着まで伴走。

目指す姿

「ツール契約・開発の前に、利益が出る形を整える」を合言葉に、会社が何に・いくら払っているかを可視化。現場に入り共に手を動かすからこそ、製造業では年約1,450万円削減・費用対効果6.5倍を実現。投資の黒字化にとどまらず、業績向上まで自らの責任と捉え、企業が将来にわたり事業を継続できるよう支援する。

株式会社Furahi | 担当：川口
kawaguchi@furahi.co.jp

形状・姿勢のばらつきに対応する紙加工品ピッキングPhysical AI

愛媛県と東京大学大学院工学系研究科の連携協定に基づき、同大学の松尾・岩澤研究室と連携して招へいした企業

株式会社HAYABUSA（東京都）

※一部、実証中の内容を含みます



現場課題

紙加工品は変形や姿勢のばらつきが生じやすく、固定動作の産業用ロボットでは安定した把持が難しいため、検品後の仕分け・箱詰めに人手が残り、人員確保や品種切替時の負担が課題となっている。

提案ソリューション

画像・3D認識AIで、紙加工品の形状・位置・姿勢を認識し、個体ごとに最適な把持方法を判断することで、ばらつきのある製品にも柔軟に対応し、仕分け・箱詰めを自動化する。

株式会社HAYABUSA | 担当：浦田
hayao.urata@hayabusa-technologies.com